

ぽわわ 19号

ぽわわとは？

ぽわ 天白を元気にする力(パワー)
わ 地域をつなげる輪(わ)と和める(わ)たまり場づくり
 そんな思いがひとつになって
ぽわわと名づけました!

発行 社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会
 情報紙「ぽわわ」プロジェクト
 〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目301
 原ターミナルビル3階
 TEL:052-809-5550 FAX:052-809-5551
 E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp
 http://www.tenpaku-shakyo.com
 編集 株式会社 リベルタ
 〒468-0011 名古屋市天白区平針2-1111 A2ビル207号
 TEL:052-808-0429 FAX:052-808-0421
 E-mail:libertad@mbp.nifty.com

情報紙「ぽわわ」へのご意見、ご感想も
 はがき・FAX・メールにて受け付けています。

視覚障がいその他の理由で活字のまま読むことの困難な人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大図書」等の製作をすることを認めます。



2008年も過ぎようとしています。
 ぽわわを手に、ゆったりとした気持ちで
 今年1年をふりかえってみてください。

育もう、豊かに、のびのびと。 名古屋唯一の知的障がい児施設 あけぼの学園



あけぼの学園は、昭和35年に開所した名古屋市で唯一の知的障がい児のための入所型の生活施設です。ここで共同生活を送りながら、将来の自立に向けてみんなが頑張っています。

大都市の名古屋市ですが、ここで受け入れられる障がい児の数は、残念ながらわずか70人ほど。対象年齢は原則、5歳(年長児)から18歳までですが、次の受け入れ先が決まるまでは、入所生活の続く人もいます(現在の最高齢は37歳)。障がいレベルは軽度から最重度までと幅広いため、保育士や指導員のほか、園内診療所の小児科・精神科の医師と看護師が連携し、園児一人ひとりの個別プランを組み立て、将来の自立へ向けて様々な角度からのサポートを行っています。

レクリエーションや地域交流も活発

児童は、毎日のびのびとした中にも規則正しい生活を送ります。平日は朝6時30分に起床し、小・中学生の学齢児はそれぞれの障がい児学級や養護学

校に通学。学校を卒業した児童は、織物や農作業などの活動を通じて力を発揮しています。そして、午後6時に夕食を食べ、9時に就寝して1日が終わります。学園では、理髪や各種レクリエーションなどに様々なボランティアが協力してくれています。また、地域との交流も盛んで、特に夏の盆踊り大会や、10月の「あけぼの祭り」では、多くの地域住民が参加し、共に楽しいひとときを過ごします。

地域に密着した福祉活動拠点

あけぼの学園は、天白区障害者地域生活支援センターとしての役割も担っています。在宅の障がい者やその家族への支援を行うなど、障がいを持つ方の地域生活をサポート。また、数日単位の短期入所事業も行い、養育者の疲労回復などに喜ばれています。学園長の鷲見さんは「入所時にはたっぷりの愛情を、出る時には十分な社会性を与えてあげるのが私たちの使命。誰もが共生できる社会の実現に向け、地域とともに努力していきたい」と話します。

お知らせ

あけぼの学園では、各種ボランティアに協力していただける方を募集しています。内容や日時に指定はありません。お気軽にお問い合わせください。

〔活動内容〕

衣類の補修、園芸、理髪、料理招待、自転車修理、宮繕、児童交流、行事参加(遠足、海水浴など)
 問合せ先：名古屋市知的障害児施設 あけぼの学園
 名古屋市天白区植田山2-101
 TEL：781-0155 FAX：781-0269
 E-mail：akebono-nagoya@qc.commufa.jp



ここは昭和初期に撮影された天白区内のある場所です。さあ、どこか分かるかな？ 答えはP.3です。
 (出典：「名古屋今昔写真集 第Ⅱ巻」樹林舎・写真提供：オフィスげんぞう)



地域の高齢者とお話しよう。 昔の暮らしを体験しよう。 【名古屋市立八事東小学校】



地域の方に教えてもらいながら、器用にわら草履を編む子どもたちの自覚をもってほしい」との願いから始められた異世代交流ですが、地域の方も子どもたちの力になれてうれしいと顔をほころばせます。



この日のメニューは、ちらし寿司。美味しい給食に話も弾みます

昭和28年創立の八事東小学校。およそ680人の児童が通う、区内でも比較的児童数の多い学校です。学校では、クラスごとの活動だけではなく、違う学年の子どもたちが一緒になって活動する機会を設けています。また、異世代、特に地域の高齢者との交流も盛んです。主な活動として、「ふれあい給食会」があります。学区内の50人ほどの高齢者(主にひとり暮らしの方)を招待し、5年生と一緒に給食

を食べます。今年は11月21日に開催し、高齢者一人ひとりに手作りのメッセージカードを手渡しました。昔の学校の様子や戦争体験など、普段は聞くことのできない話を熱心に聞く子どもたち。食後には、トランプや百人一首などのカードゲームで楽しい時間を過ごしました。

総合学習では、昔の暮らしを体験する時間があります。わら草履・おこしもの・竹とんぼ・すいとん作りを地域の方に教わるのです。わら草履に使うわらは、近くの農家が特別に用意し、また編むためにわらをしごくなどの下準備をしてもらいます。地域住民の協力がなければ、子どもたちがこうした体験をすることはできません。他にも、地域の方が昔の生活の様子を説明する時間も設けられ、子どもたちは教科書で学んだ農機具などを間近に見ることもできます。「地域の一員として

おすすめ スポット

障がい者と地域社会との橋渡し役に
福祉の店 ほっとたいむ



カロリーや栄養バランスを考えられて作られた日替わり弁当 630円

めいきん生協植田山店の2階にある『福祉の店ほっとたいむ』。ランチや軽食を提供する喫茶店を運営するほか、高齢者や障がい者のための配食サービス(夕食)も行っています。ほっとたいむは、『共同作業所ほっとはむ』の作業部門のひとつとして2003年にオープン。現在は、8名の利用者が作業に取り組んでいます。

今でこそ、食べ物作りをする作業所が増えましたが、ほっとはむ別部門のほっととがスタートした1991年当時は、少なかったそうです。「障がい者の仕事として喫茶や食べ物作りがタブー視されていた時代でしたから」と職員の山北信子さんは当時を振り返ります。しかし、料理はいくつもの工程があるのでレベルに応じて作業ができること、生産当日に消費されるので仕事が見えやすく翌日の仕事の保障ができること、さらに、食べることは生活に密着しているなどの理由から飲食店にこだわりました。手作り心を入れて作られる料理は10種類以上にもなり、今ではリピーターも増えています。また、喫茶の仕事や配食サービスは、障がい者と地域の人たちが直接交流できるという利点もあります。「お互いに支えあい助け合うことは、これからの地域社会に大切なことでは」と山北さん。いつも明るい笑顔があふれる「ほっとたいむ」に一度訪れてみませんか?



明るい日差しがさんさんと注ぐ店内

住所: 天白区植田山5-2529 めいきん生協植田山店2F
TEL・FAX: 832-9629
営業時間: 午前10時～午後4時(ランチ午前11時30分～午後2時)
定休日: 水曜日、日曜日



サロンの訪問

年齢に合わせた手作りの遊びが人気
子育てサロン ピッコロ・オカリナ

「ピッコロ・オカリナ」は、表山公民館で開催している子育てサロンです。ピッコロは0歳児が対象、オカリナは1歳児と2歳児が対象です。それぞれ年齢ごとにサロンの開催日は分かれています。どのクラスも10組以上の親子が集まり、多いときには20組近いこともあるそうです。サロンでは学区の保健師さんの話があたり、ティータイムがあたり、主任児童委員さん(子育て経験のある先輩ママ)たちがアイデアを出し合って考えた遊びを楽しんだり、プログラムに沿って行っています。7月は七夕飾りを作ったり、12月はクリスマス会を開催したり、季節感を大切にしたいプログラムは、お母さんたちからも好評です。「年齢別に分けるのは場所が狭いということもありますが、それぞれの成長に合わせた遊びをすることができるからです。また、同じ地



11月の1歳児クラスでは野菜ハンコに挑戦しました

域に住む同じ年の子どもを持つ親同士が関わりを持つことは、何かあったときの強みにもなると思います」と、主任児童委員の片岡さん。予約も会費も要らないので、気軽に参加してみたい? (※ピッコロのみ、第1子で「すくすく訪問」をした方が対象となります)

開催日時: ピッコロ(0歳児) 4月、10月
オカリナ(1歳児) 6月、11月、2月
オカリナ(2歳児) 7月、12月、3月
4月以外は第1火曜日午前10時～12時
※基本的に表山学区に在住している親子のみが参加できます。
場所: 表山公民館
会費: なし
連絡先: 表山学区主任児童委員
片岡伸枝さん(TEL:834-5440)
中尾京子さん(TEL:832-4934)
主催: 表山学区地域福祉推進協議会

ぼわわ 子育て日記

No. 19 もうすぐX'masですが、サプライズはありますか？

クリスマスまでの4週間を、子どもと一緒にワクワク楽しむ方法があるのをご存知ですか？それはクリスマス限定の「アドベント(待降節)・カレンダー」です。12月1日から24日まで、数字の書かれた扉を1日ずつ開けられるようになっていて、全て開ければ素敵な絵画になっていたります。扉の中に小さなお菓子が入っているカレンダーもあり、日によっては高価なお菓子だったり、お菓子とは違うものが入っていたりします。そして、24日は特別豪華なもので締めくくる。ね、ワクワクするでしょ？

ただしアドベント・カレンダーは購入すると高価なので、自分で作ることもできますよ。子どもがいない間にひそかに手作りするんです。母親手作りのアドベント・カレンダーを子どもに見せれば、すごく喜びますよ！クリスマスまでの毎日が楽しみに、待ち遠しくなる。そして24日にはクリスマスプレゼントまでもらえちゃう。子どもにとっては夢のような4週間だと思いませんか？私は頑張って手作りするぞ！みなさんも手作りしてみてくださいはいかがですか？(みとりん)



ぼわわ 介護日記

No. 11 「認知症の人の世界を知る(その7) “ご家族の情報はお宝です”」

施設に入所中のMさんは、おやつ本の時間に本を読んで過ごしていました。突然、「私は、白か黒かわからなくなった」と悩み始め、空いた食器を片付け始めたスタッフに、「それは当たり前だろ！何で動かすんだ!!」と大声で怒鳴りました。何度か同じようなことが続いたため、ご家族に相談してみると、Mさんの趣味である「囲碁」に原因があることが分かりました。突然、不穏な言動が始まったのは、囲碁の本を読んでいる途中だったので。囲碁用語で「当たり」とは、「次に石を打てば相手の石を取れる状態」のこと。認知症のMさんは、囲碁の本がきっかけで、テーブルと食器が囲碁の盤面と碁石に見えたのでしよう。勝負が決まりそうな石(食器)をスタッフが勝手に動かそうとしたので、怒るのも当然です。以降、Mさんから囲碁用語の発言があった時には、テーブルの上は片付けず、思う存分囲碁の世界に浸っていただくことにしました。このように、認知症の方の不穏な言動は、ご家族からの何気ない情報の一つで、原因究明・問題解決につながる可能性があります。どんな些細なことでもご本人のことをお知らせください。(モカ)



ぼ・わ・わ・ひ・ろ・ぼ

天白の井戸端 今回のお題「冬」

たくさんのご応募 ありがとうございます！
今回、その中から選りすぐりの7点を選ばせていただきました。



- 性格をあらはに見せてカルタ取り (シゲノマサコさん)
- 冬(寒)の水五臓に沁みて目の覚むる (磯辺登代子さん)
- 省エネに協力しよう湯タンポで (山口和子さん)
- 山茶花の寒くなる程元気出し (古澤義夫さん)
- サクサクと白菜漬けの旨し膳 (宮田ゆり子さん)
- からからとシャッター通り枯葉舞う (みわさん)
- 冬日射す小部屋つづきの奥までも (鬼頭昌子さん)

次回のお題「春」
締切:平成21年2月2日(月)
皆さんの投稿をお待ちしています！

編集後記

前号の表紙に掲載した「天白福祉会館」より、紙面を見た方からの反応がたくさんあったというお礼の連絡が入りました。その内容を伺ったところ、福祉会館の利用手続きや、活動内容に関することから、わくわくクラブ一体験会への申込み、デイサービスセンター職員から利用者と一緒に民謡発表会を見学したいという申し込みもあったとのことでした。紙面を通じて新たな「つながり」を見つける情報紙として、これからも「ぼわわ」をご活用いただけたら幸いです。

問合せ先 社会福祉法人 名古屋市天白区社会福祉協議会 情報紙「ぼわわ」担当 通木(つぎ) 川柳の投稿先
〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目301番地 原ターミナルビル3階
TEL:809-5550 FAX:809-5551 E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp

表山・高坂学区でシルバーパワー事業が始まりました！

表山・高坂学区で、シルバーパワーを活用した地域力再生事業が実施されます。50歳以上の団塊の世代等の方にボランティアカードを発行。学区で認定された事業のボランティア活動を行うことにより、ボランティアポイントを発行します。ポイントは金額換算され、地域の福祉団体に還元(寄付)されます。既に地域活動をされている方、新たに始めたいと考えている方、地域福祉活動に是非ご協力ください。50歳以上の方でボランティアカードを希望される方は、天白区社会福祉協議会までお申し出ください。還元(寄付)を受けることができる団体は、事前に登録が必要になります。



問合せ先 社会福祉法人 名古屋市天白区社会福祉協議会
〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目301番地 原ターミナルビル3階
TEL:809-5550 FAX:809-5551
E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp
ホームページ http://www.tenpaku-shakyo.com

善意の輪
次の方々より天白区社会福祉協議会にご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。天白区の地域福祉推進に有効に活用させていただきます。(平成20年8月1日から10月31日受付分 受付順)
○八事東学区盆踊り実行委員会 様 ○名古屋ヤクルト販売株式会社 様
○伊藤 繁子 様 ○名古屋を明るくする会 天白グループ 様
○朝日新聞 名央支部 連合会 様 ○日本民謡研究会 豊寿会 様
○匿名 5件